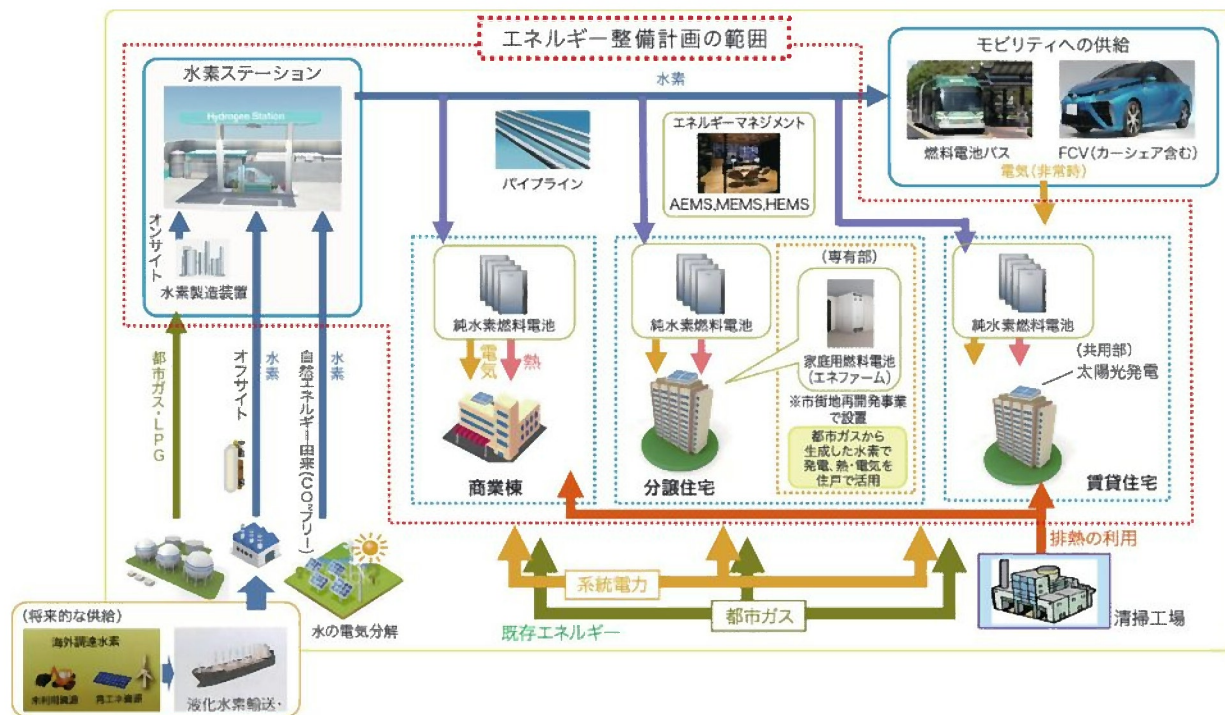


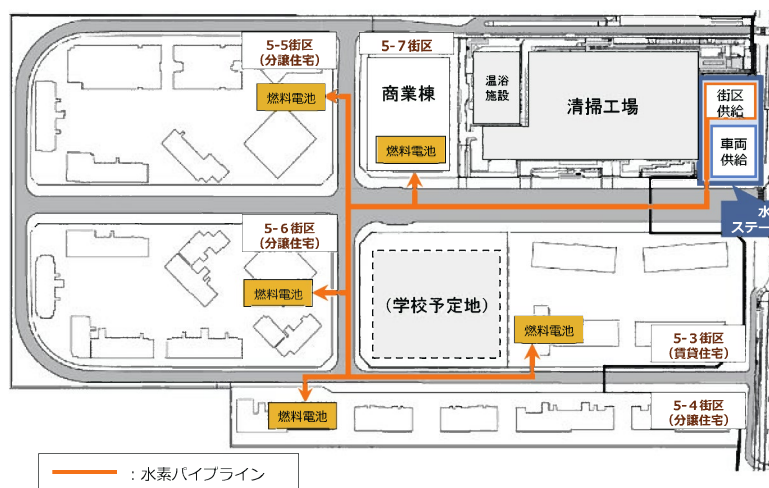
◆ 選手村地区エネルギー整備計画の全体像

環境先進都市のモデルとなる都市の実現に向け、目指すべき将来像や施策の方向性、整備内容などについて、「選手村地区エネルギー整備計画」として取りまとめました。大会後の選手村地区^{注)}では、系統電力や都市ガスに加えて、水素や排熱などを重層的に組み合わせて利用することで、低炭素化・省エネルギー化・都市のレジリエンス強化の実現を目指します。



◆ 選手村地区エネルギー事業の取組み

水素ステーション、水素パイプライン、純水素型燃料電池を整備し、燃料電池バスなどの車両への水素供給や、パイプラインを通じた街区への水素供給を実現します。平成30年2月に、東京ガス株式会社を代表企業とする6社(東京ガス株式会社、晴海エコエネルギー株式会社、JXTG エネルギー株式会社、株式会社東芝、東芝エネルギーシステムズ株式会社、パナソニック株式会社)との基本協定を締結し、事業を開始しています。



水素パイプラインの敷設イメージ



燃料電池バスや燃料電池車に水素を供給



水素ステーション (イメージ)

注) 選手村地区とは、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会における選手村及びその周辺」を指す(選手村地区エネルギー整備計画(H29.3)より)